










教材 7

ひとりよがりの使い方にならないように

シナリオ・スライド

<p>導入編</p>		<p>小学校6年生の3人（はなえさん、あかねさん、わかなさん）は、とても仲良し。わかなさんだけスマートフォンを持っていません。お母さんに相談し、約束を守ることを前提に、スマートフォンを買ってもらうことになりました。</p>
		<p>これで、スマートフォンを持っているはなえさんとあかねさんと、いつでも連絡が取り合えるようになりました。わかなさんは、食事中まで連絡を取り合っていたところ、お母さんに見つかり、お母さんにスマートフォンを取り上げられてしまい、はなえさんとあかねさんとの連絡が取れなくなってしまいました。</p>
		<p>わかなさんが、返信ができない状態が続き、とうとう、はなえさんとあかねさんは、翌日、学校でわかなさんと話さないことに決めました。</p>
<p>解説編</p>		<p>携帯電話やスマートフォンが使えない場合には、以下のようなことが考えられます。ひとつは、「使ってはいけない場所にいる」場合が考えられます。例えば、電車、映画館、授業中、飛行機、歩きながら などです。次は、「使わない方がいい場面にいる」ことが考えられます。例えば、勉強中、お風呂、ベッド、食事中などです。さらに、「使いたくても使えない状況にある」場合もあります。電波が届いていない、バッテリー切れ、置き忘れた などです。</p>
		<p>インターネット上のやり取りは、相手の顔が見えないので、誤解しやすく、感情的になりやすいこともあります。また、返信がない場合、相手の状況が分からないために、イライラしたり、感情的になってしまったりすることもあります。</p>
		<p>でも、そんなときに、相手の状況を考えて、しばらく待ってあげるといような対応も必要です。返信がなくても、「イライラしない」「友達に言いつけない」「あとで、責めるような発言をしない」などの対応をするようにしましょう。友達を傷つけたり、自分もいやな思いをしたりしないように心掛けることが大切です。</p>
		<p>また、みんなで使い方のルールを作ることも大切ですが、その中に相手の状況を考えることや、自身の状況に応じて使うというのも決めておくとういでもよいですね。</p>
		<p>自分たちの写真をインターネット上にアップしている人がいるかもしれませんが、写真にはあなたの顔や友達顔と一緒に、多くの場合、位置情報もついています。どんだんアップして大丈夫ですか？ あなたたちがどこにいるかが、いろいろな人にわかってしまうのです。気を付けましょう。</p>
		<p>インターネット上のやり取りには、気をつけなければならないことがいくつかあります。相手にはいろいろの状況があるのだということをお互いに思いやって、ゆったりとした気持ちで不信感を募らせないで、うまく活用していきましょう。</p>